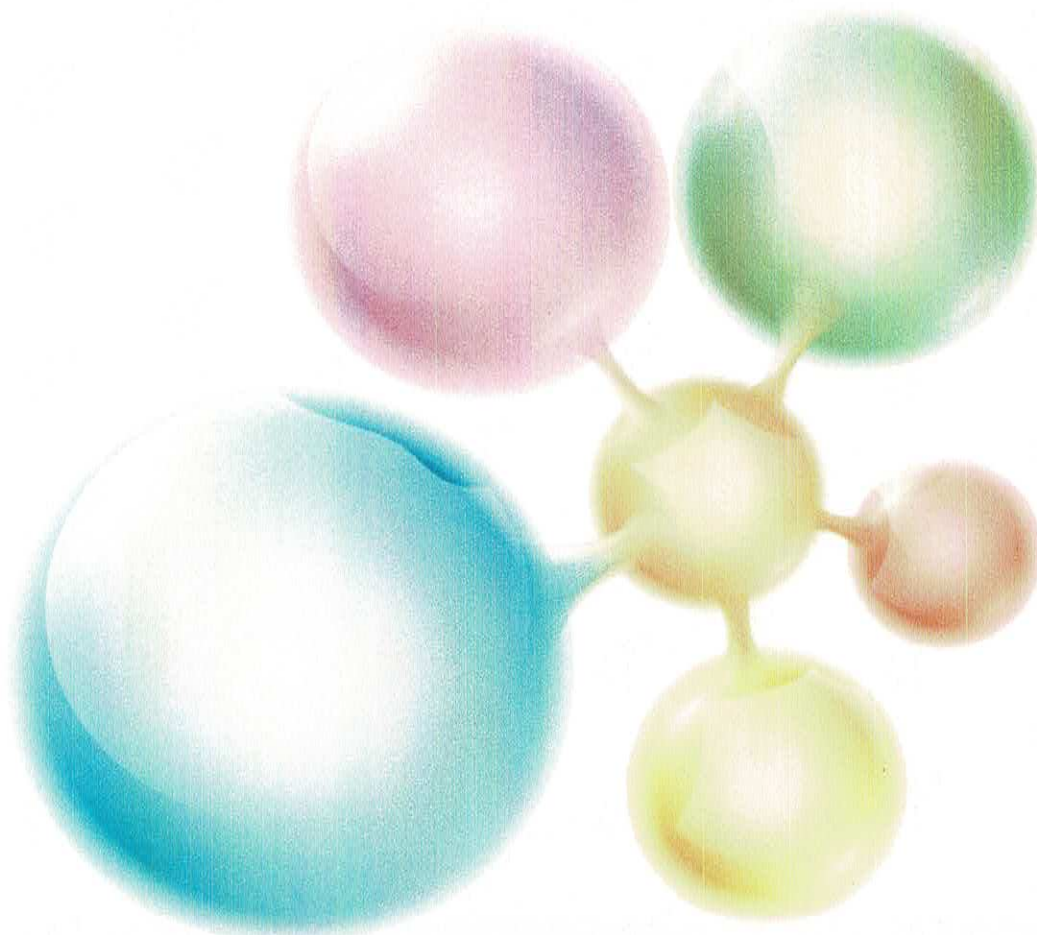


グローバルハートのケイ素「抗がん剤」特許第6238414号

「がん転移抑制」特許 メカニズムと学問的裏付け



株式会社グローバルハート
代表取締役 増田 博美

01 : はじめに

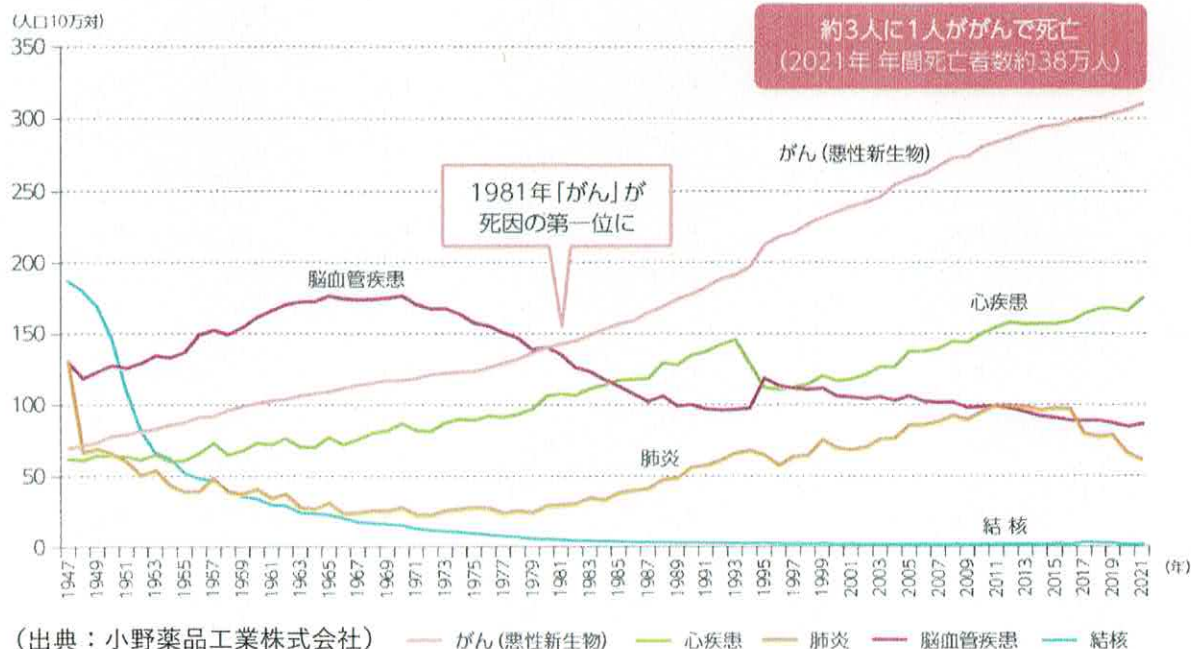
株式会社グローバルハートは「抗がん剤」の特許（第6238414号）を取得している会社です。ケイ素を活用して「がんの転移を抑制する効果」を証明し、2017年11月10日に「抗がん剤」として特許を取得しました。日本では年間100万人ががんに罹り、日本人の死因の3分の1はがんであり、世界一のがん大国です。米国ではがんの死亡率が30年前と比べて33%も減少しているのに、日本では52%も増えており、日本のがん対策医療は功を奏していないのが実態です。

当社はケイ素を活用したサプリメントの開発製造会社であるため、薬事法により効果や効能を謳うことはできませんが、2014年からのケイ素研究開発以来、当社のケイ素商品をご愛用いただくお客様が毎年着実に増えているのは、その成果が出ているからだと思われます。

02 : 抗がん剤特許証



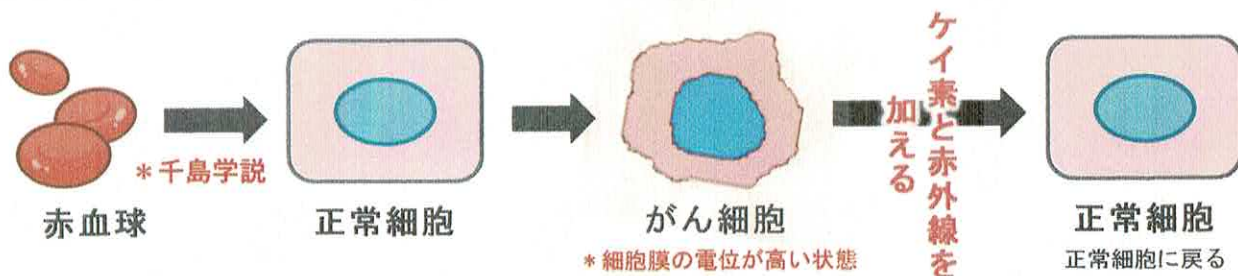
03 : 日本人のがん罹患状況



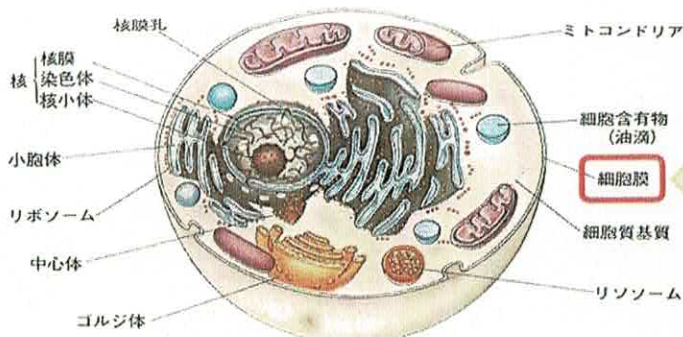
04 : 「がん転移抑制」のメカニズム

がん細胞膜の電位は、健康な細胞膜より電位が高いことが知られています。ケイ素はがん細胞の「過剰電子」を奪ってその電荷を増し、その結果、がん化した細胞が元の正常細胞に戻るメカニズムです。

がん細胞が正常細胞に戻る→量子物理学的理論

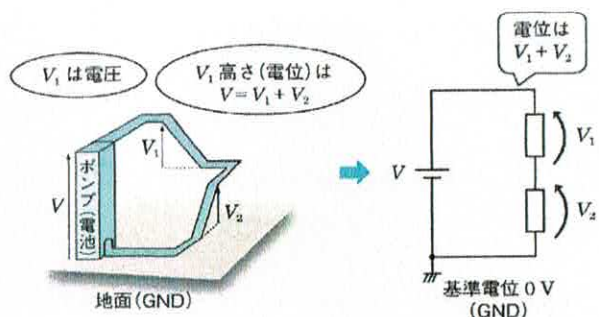


動物細胞



細胞膜は第2の脳

電圧と電位





故・千鳥喜久男博士
(出典：千鳥学説研究会)

千鳥喜久男は日本の生物学者、医学博士。岐阜県出身。1963年から自らが「革新的医学・生物学的理論」と称する「千鳥学説」を提唱し、「新生命医学会」を設立、普及活動を行いました。がん対策について「癌細胞は分裂によって増殖するのではなく、病的になった赤血球から分化するものであることから理解し、浄血の方法を講ずることがまずがん対策の一步であり、この第一歩が既に誤った既成説から出発しているのであれば、がん対策は成功する筈がない。」と説きました。

■ 第1原理 赤血球分化説 (赤血球一元論)

全ての体細胞や生殖細胞は赤血球を母体としている。病的な場合はがん細胞、炎症の部の諸細胞、傷の治癒も全て赤血球から生ずる。
A F D現象→A:Aggregation (集まる) F:Fusion (溶け合う)
D:Differentiation (分化、発展) すなわち集まって、溶け合い、分化、発展する。

■ 第2原理 血球の可逆的分化説

断食や減食の時、痩せるのは、健康なとき第1原理に従って生じた体の組織や細胞が血液へ逆戻りするからである。

■ 第3原理 バクテリアやウイルスの自然発生説

パスツールの説は事実及び理論共に行きすぎがある。そして、親細菌やウイルスは既存の親の分裂によらないで自然に有機物から発生する。

■ 第4原理 細胞新生説

細胞は分裂によって増加するという既成説は誤りである。細胞は有機物からA F D現象によって自然に発生する。

■ 第5原理 腸造血説 (骨髓造血説の否定)

赤血球は食物消化産物 (食物モネラ) から腸の絨毛 (じゅうもう) で造血される。骨髓造血は不合理、矛盾に満ちたナンセンスな説である。

■ 第6原理 遺伝学の変革 (遺伝と血液、生殖細胞、環境)

メンデル・モルガン遺伝学は根本から誤りを含んでいる。それは生殖細胞は血球からできることを発見したからである。また、遺伝と環境は無関係ではない。(獲得性遺伝の肯定)

■ 第7原理 進化論の盲点

既成進化論にはいくつかの盲点、矛盾がある。その中、大切なのは生物進化は共生 (相互扶助) が根本であり、弱肉強食思想は動物世界の掟であり、単細胞生物から人間に至るまで共生が主体である。

■ 第8原理 生命や自然に関する正しい観方 (生命弁証法)

従来の医学、生物学の根本的誤りは形式論理的であるから矛盾が多い。生命や健康は心身一如の生命弁証法的でなければならぬ。私の学説はこの生命弁証法で一貫している。

【食物に関する3S主義】

菜食、小食、咀嚼、これに精神の安定と適当な運動が大切である

私たち動物の体内を流れる血液、酸素や栄養を運ぶと同時に、不要物を運び出す役目を担っています。植物にもよく似た働きをもつ物質が存在します、そう、葉緑素です。光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を放出します。血液と葉緑素、別物のようですが、化学式でみれば違いはごくごくわずかで

真中が
鉄 (Fe) でヘモグロビン マグネシウム (Mg) で葉緑素

その答えは、36億年前の地球上にありました。
原始の地球上に生まれ、生命誕生のきっかけをつくりました。動物には血液を、植物には葉緑素を与えたのです。

コソモ石油 (ALA) CMより

※現在、人工的につくれるのはヘモグロビンや葉緑素の原料ALAまで
※良い赤血球をつくるには良質の葉緑素摂取が必要です